

平成28年度 東北小中学校教頭会研究大会 盛岡大会 報告書

会長

木立 恵人

1 日 時 平成28年11月16日（水）～17日（木）

2 場 所 岩手県盛岡市 全体会場 盛岡市民文化ホール
分科会場 ホテルメトロポリタン盛岡本館・ニューウイング



マリオス



メトロポリタン盛岡本館



ニューウイング

3 日 程

(1) 11月16日（水）

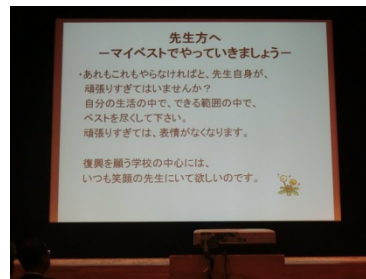
13:00 開会行事



14:15 記念講演

演題「学校・学級経営を再考する」 ～復興対策を視野に入れながら～

講師 早稲田大学 教授 河村 茂雄氏



「あたりまえ」という感覚は、その人が意識せず持っている行動の基準人によって「あたりまえ」の質とレベルが違う→学年で話し合いそろえる

(2) 11月17日(木) 分科会 巡回

第6分科会 『副校長の職務』

ベルヴィ盛岡



第2分科会 『子どもの発達』

ホテルメトロポリタン盛岡本館



第1A・B分科会 『教育課程』

第3分科会

『教育環境整備』

第4分科会 『組織・運営』

第5分科会

『教職員の専門性』

以上 ホテルメトロポリタンニューウイング



4 全体を通して 感じたこと

今回全体で約900名の参加者のうち、本県からは、112名であった。多数参加していただき、また、分科会の話し合いでも、本県参加者が活発な意見交換を行っていた。特に、本県割り当ての第4分科会での竹館小学校の小枝教頭先生の発表では、危機管理マニュアルについての発表であったが、残念ながら巡回でみることはできなかった。

全体を通してみると、どの班の話し合いも活発で行われているのは、サブテーマとして<生き抜く力・絆づくり>を掲げていることと、東北は一つという意識があることが同一課題解決に向かったのではないかと感じる。東北教頭会の「協働性」と「絆」が一層深まった研究会であったと思われる。講演の中で河村教授は、『組織はそのままでは硬直化する、学習し続けなければならない』『教師たちがもつあたりまえの質の向上』という言葉が印象的であった。ある意味、今後の教頭会として進むべきベクトルを示していただいたように思える。

参加した方々が、何か一つでも良いと思える“おみやげ”を頂いた研究会であったとつくづく思えました。運営等で中心となった、盛岡市副教頭会には大変ありがとうございました。